

小見山 純一先生（聖徳学園大学）に3年生が 合唱指導をしていただきました！ 合唱コンクール（9月25日）の審査員にも！

聖徳学園大学の小見山純一准教授に合唱コンクールの審査員をお願いしました。笠松中学校のOBであり、夏の二町教育委員会主催の合唱セミナーの講師も務めた方です。

小見山先生は、中学生、高校生への合唱指導のスペシャリストです。笠中の4本柱の一つの「合唱」をリードしてきた大先輩である。中学3年時の彼が弾くピアノは忘れられない思い出です。音楽の専門でない私も鳥肌が立ちました。彼の誠実さ、優しさ、思いやり、芯の強さが感じられるピアノです。

小見山先生は極学年の学年合唱練習後にこう言われました。

「極学年すぐ応えてくれる、合唱がどんどん変わる。今までの先生方の指導のおかげ。あの子たちも生きている。合唱も生きている。だから「ことば」を大切にしてほしいんです。中学の合唱はこの時を生きた証なんですよね。合唱っていいなって感じてほしいです。」

【写真】3年生の合唱練習の様子（笠松中アリーナにて）

